

# 下紺屋町分館報

発行所 / 下紺屋町分館  
責任者 / 山浦 正孝

上田市中央西1-14-38 電話25-0995

# ふれあい

しあわせな明るい人生 !!  
町民は共に生きよう  
ふれあい健康人生 !!

## 隣両軒三向あり思いやさしさ



敬老会で三遊亭きん歌さんの落語「てんしき」に爆笑(15.6.8) 提供/荒井 潤

下旬上田郵便局新局舎開局五周年記念イベントには男女有志が道具持参で餅つき大会に参加し局側の皆さんに大変感謝されました。恒例の夏祭りについて詳細は他の役員に任せますが、神輿出動は、今年から一日限りとする等、不慣れな条件下でも結束してより盛大な成果を残し得た事につき関係者各位に対して感謝しています。町内では毎月二回乳酸飲料

文化祭が終わると年末までは釣瓶落しの秋の落日の様、一年を回顧して見たくありません。冒頭の文化祭発表会の番組編成に腐心する分館長の許に楽器を手に公会堂に集まって下さった方々、同展示品コーナーで米寿女性のレース編み作品が映える

## すばらしき我が町「下紺屋町」

自治会長 宇野 正夫

様に、その下に自前で色物の布をそつと敷いてあげていた方、その思いやりの心根に心温まる思いでした。行事の多い下紺屋町ですが、他人を思いやる心情が心を一つにして行事達成に協働しているように思い、誇らしい限りです。三月

を持参し独居高齢者等を激励訪問している街づくり推進委員(フーマーさん)や、社会奉仕活動の一環として北部児童公園(八幡神社境内)を清掃する大樹会の皆さん、手を焼くルール違反ごみの分別に奮闘する衛生役員の方、こうした皆さんに力強く支えられて「素晴らしい下紺屋町」です。

## 分館活動を通じてたしかな手応えが

下紺屋町分館長 山浦 正孝

分館長を拝命してから早くも二年が過ぎようとしています。この表題を頂いたとき、自分自身、活動を通して確かな手応えを感じてきたのだろうかと自問自答を繰り返してみました。

公民館活動は、地域の人々が趣味、スポーツ、その他様々な分野で見聞を広げ、学習し人生を彩りの濃いものにしていくための受皿作りを手助けしていく事ではないかと考えます。

分館運営委員の皆さんの力をお借りして住民の方々が分館に何を望んでいるのかを検討しながら試行錯誤

## 心あたたまる出来ごと

自治会副会長 須藤 清克

下紺屋町の資源ごみの回収は、公会堂と八幡神社裏の二ヶ所で月一回行われています。

時間は午前七時から九時までですが、集中して持つて来るので衛生部長さんや先頭に三名の理事さん方も交代で処理作業にあたって

います。八幡神社裏の回収時の一場面で、心打たれる出来ごとがありました。回収を始めて暫くした時若い二人の理事さんが「おい、自動車を用意して」と言つて二人が車で立ち去りました。少したつて車に資源ごみを一

杯積み込んで帰ってきたのを繰り返して、ようやく方向性が見えてきたのかなと感じてはいます。

少子高齢化が進んで活動の内容も制約が多くなってきてはいますが、西部地区の運動会も、町の文化祭もそれぞれに内容のある成果を挙げることができました。女性学級も継続が心配されましたが、多くの方々の努力でみるべき成果があったことは大変喜ばしいことでした。

最後に、自治会長をはじめ役員の方々に大変なご助力を頂き心より感謝申し上げます。

市内には一五八の自治会があります。下紺屋町の高齢化率(町全体の人口に六五歳以上の人が占める割合)は、一七位と上位の方です。このように町民がお互いに支えあい「思いやりのある」町づくりをしているんだと、ほっとしました。

## 下紺屋町に来て

三申一年 上平 幸

私がこの町に来たのは、去年の十月です。

知らない町に来て、少し不安でした。でも、明るくていい町だなあと思いました。それは、あいさつをするときと明るく返してくれるからです。前の自治会より人数が多いので、あいさつをする回数も多くなりました。それに行事も多くて、八幡神社のゴミのないきれいなにおどろきました。

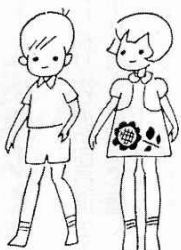
これからも、この町のいい所を探して行きたいと思っています。

## 町へのお願い

西小六年 南波 優希

今年の三月ごろ、八幡神社の近くで、新聞配達の人や、外国人におどされる事件がありました。私たちが身近で、このような事が起きる可能性がある。

という事を頭に入れ、これから、ひとりひとりが気をつけていかなければいけないし、大人のひと、話しをしたりして、安全に過ごせる町に、みんなで協力し合ひましょう。



# わが街の三大祭事!



## 初春! とんと焼き

前西小 P T A 支部長 菊池 節子

「まゆ玉って何?」  
「それはね。」一年生の子供達と大樹会の皆様の会話を聞きながら、色も形もさまざまで、まるで工作のような楽しい一時。そして、柳がしだれるようにつけられた力作を盛つてのどんと焼き。羊年の子供達を中心に点火されると、高く積まれたバーンと大きな音をたて、白く立ち登る煙が、真青な空に吸い込まれていく。やがて炎が小さくなる、残り火を取り囲むようにまゆ玉のきれいな花が咲く。煙と格闘しながら焼き上げたまゆ玉は、甘くほろ苦い思い出の味となるでしょう。伝統を守ることの大切さを、子供達に伝えていくことが私達、親の務

## 「ぎおん祭」の不思議

花園六部理事 荒井 潤

一年一度の、町挙げての「お祭り」である『ぎおん祭』。毎年このことながら、どうしてこの町はぎおん祭となるのかと不思議に思う。

六月下旬に開催される祭りのための臨時総会に端を発し、七月に入るともう公会堂はそれぞれの担当者が入り乱れて準備に余念がない。それも今年など例年の



二日間の祭りが一日に短縮されたというのである。理事などの役職に就いたために初めて祭りの準備に関わる方も、最初は戸惑いを隠せないでいるが、そのうちにすっかり秀舞気になつてと痛感しています。

染み、いつかベテラン気取りでときばきと動いているから見ていても楽しい。

以前会計をやっていた時に、寄付や祝儀の多さに驚いた記憶があるが、不景気といわれる昨今でもその勢いが衰えないのは何故なんだろう? 色々考えて見たが、要はこの町の人達は、この町が好きなんだという単純で明快な結論に達した。来年も『ぎおん祭』はさぞ盛り上がることだろう。

## 上田わっしょい

人権同和推進委員 関口 泰彦

七月二十六日に第三十二回目の『上田わっしょい』が行われました。私たちが自治会も子ども達からお年よりまで、総勢九十人の連で参加いたしました。

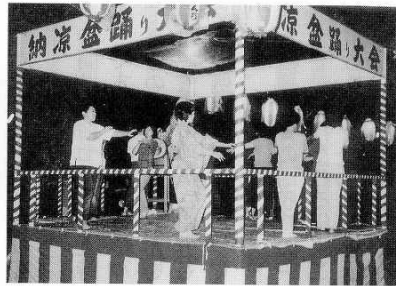
今年も子ども達は工夫を凝らした踊りで、観客の方から拍手をいただきました。私も後列でリヤカーを引きながら見とれておりました。がやはり「踊らな損損」で、踊りに参加したいと思いましたが、来年も大勢の参加よろしくお願いいたします。



夏の風物詩 わが町の 美女勢揃い!

## 盆踊りは楽しんで

花園二部 土屋豊枝



今年は涼しく過ぎ易い夏でした。盆踊りには自治会長さん始め、役員方々、町の皆さんの御協力によって夏の一夜を、常日頃の雑事を忘れて楽しく踊りました。

## 82歳の青春

大樹会会長 中沢 良精

人生80年の時代を迎え、長い生涯を充実した日々にしたいものです。

大樹会は八七四万会員を擁する老人クラブ全国組織の一つです。平成15年度大樹会の会員は68人で、

60代が2人、70代が22人、80代が37人、90代が7人で、会員の平均年齢は82歳です。

仲間づくり、生きがいづくり、社会貢献を目的として活動しています。

心とからだの健康づくり活動として、ゲートボールを毎週3回、スマイルボー

うと、生き生きとした笑顔が、八幡の境内一杯に溢れます。浴衣姿の可愛い子元氣のよい男の子、少し、はにかみながらも、舞台上にあがると、真剣な顔で一生涯懸命踊っている姿は頼もしく、これからは楽しみます。思わず「頑張つて」と声援を送ります。PTAのお母さん方も、子供さんに負けず頑張りました。同志の方々にも御協力頂き、本当に有難うございました。

盆踊りを通して、人々との出会いがあり、其処から話題も広がり、地域の方のお顔もおぼえ、元気を頂き、又明日も頑張ろうと励みになります。

汚れを知らない子供達の為にも、明るい、心の暖かい町にしましょう

## 町の話題ふたつ

久し振りの消防団員誕生! 小林 晶さんに心境を聞く。

春、友だちに誘われ、第五分団に、入団することになりました。下紺屋町に生まれ26年。子供の頃は、野球、サッカーと育成会や町の皆様には大変お世話になりました。父の背中をみて育ち、やはり同じ仕事に就き、大人になってからは、町の行事には、何も参加できなくなりました。両親も本当にやっていたのかと心配しているようですが、何か、少しでも町のことに関与してやろうと思ひ、がんばってやってみようと思ひます。

## 20年無事故。無違反で表彰

無事故・無違反で表彰されたとお話を伺い、宮尾 司さんにお話しをお聞きしました。

近所の方に、依頼されて申請したものです。毎日の生活に、車の運転は欠かせないものですが、気がついてから二十二年間、無事故・無違反だったという事で、違反に関しては、運が良かったと言っしかありませんが、事故については、人の命に係わる事ですので、自分の為、家族の為にも、安全運転に心掛けたいと思ひます。

# わが街の三大偉事!

## 3位の快挙!

### 24回西部地区運動会

下紺屋町分館主事

石巻 一男

西部公民館の最大のイベントである運動会が10月19日好天に恵まれた西小校庭において開催され、下紺屋町の歴史に残る3位という好成績を収めることができました。



ました。これは延べ119人の選手及び多数の応援に参加の老若男女が一体となったチームワークの賜と思えます。  
子どもからお年寄りまで一緒に競技に参加し、応援に声を張り上げ、豚汁で和気藹々と昼食を楽しむことができ大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。  
西部地区としてもさらに工夫をこらし、より楽しくより参加しやすい運動会に替えていくべく反省会も行

なっています。今まで参加したことがなかった方にも来年はぜひ参加いただきませうようお願い致します。

## 町内スポーツ大会と恒例 芋煮会

子ども会育成会長

一之瀬 裕

ワワーと言う喚声! やったぞ! だめだだめ! など

興奮した叫び声! 九月七日恒例の町内スポーツ大会が行われました。老いも若きも一体にファミリースポーツに夢中になる姿は、町内スポーツ大会でなくてはならない楽しさだ。毎年参加する方、初めての方、このときはやはりもう家族同様すっかり汗を流し全員揃って芋煮会場へ。



この美味しさは忘れられないひととき。楽しい一日。皆様のご協力ほんとうに有難度うございました。



## 文化祭

分館副館長

村田 佳子

今年の文化祭は、昨年とは少し違っていている様に、私は感じました。と、言いますのは、女性学級と民踊クラブからの出し物が、今年からなくなった為でした。一番の出し物がなくなり、分館長さんも、どうした物かと、随分ご苦労なされた様です。その結果、各クラブ、PTAの発表の他に、町内の方の中より、信大織維学部、藤井先生による、時代の先端を行く研究の講演をして頂き、助手の学生さん二人には、朝から夕方迄、お手伝い頂きました。それから、当日、東京より駆け付けてくださった、宮原先生のバイオリン演奏、新保さんのギター演奏、羽根さんの朗々と歌われる、「無法松の一生」など、町内には、すばらしい方々がいらして、感心しながら拝聴させて頂きました。皆様は、いかがでしたでしょうか。来年も又、すばらしい文化祭、期待しています。

## 女性学級(文化部) 新たな飛躍!

女性学級委員/人権同和教育推進委員 松倉たえ子

昨年で婦人学級が解散され、今年新たに文化部女性学級が発足致しました。長には副館長の村田さんに女性役員のサポート役も兼任して頂きました。女性学級対象者も枠にはまることなく全町民としました。手芸講習会も二回計画し、毎回十名以上の参加者がありました。要望が多く、急遽一回増やしました。また塩田巡りの際には、文化部長・青木さんに尽力を頂き、土砂降りの雨の中、男性も含めて十五名の参加がありました。近くて遠かった塩田観光名所もガイドさんの

## いま、青少年はどっへ行くと

青少年育成推進委員 飯田 信雄

説明で身近なものになりました。絵手紙教室では手芸教室とはガラリと人も入れ替わり、多くの人に参加して頂いた感を強く持ちました。今後多くの方々に参加して頂きたいと思っています。詩吟詩舞の活動をしておられる宮島さんらと共に女性学級活動をしてまいりました。人権同和教育推進委員としても多くの方に素晴らしい映画を観て頂きたかったと思いました。感想も書ける方の方に書いて頂きましたが、人数が少なく働きかけが足りなかつたかと反省しております。

日頃より青少年育成活動に、ご理解ご協力いただきありがとうございます。皆様の子どもを思い出して下さい。どんな家庭で育ちましたか? 私の生まれた家はあまり裕福ではなく、自分の欲しい物はほとんど手に入れる事ができませんでした。ですが親が家族のために一生懸命働く姿を見て私達子どもも家族のために自分達の出来る事をしようと力を合わせて生活しておりました。勉強ができないからと叱られた事は一度もありませんでしたが、悪い事をした時は親父に怒られたものです。

そんな時の親はいつもの優しい親とは別人のように怖い存在でありました。青少年の育成の基盤は家庭教育にあると言われまが、今日、青少年を取り巻く環境は複雑になり、青少年の意識や行動にも大きく影響を及ぼしているようです。いじめ、万引きや自転車窃盗などの非行も増えています。私達の未来を担う大切な青少年を、家庭はもちろん、地域での活動を通じ、世代を超えお互いを理解し合い、育てていく事も大切なことではないでしょうか。

## 少年補導は町民連帯で

少年補導委員 太田 芳枝

少年補導委員は、四自治会が一つのグループになり巡回しています。私達は上田公園を中心に巡回していますが目だつた問題はありませんでした。ただ、ある大型書店では、中・高生のグループでの万引きが多く、また本売り場の座り読みも多く迷惑しているという苦情がありました。その他に、上田駅周辺の補導活動もあります。今、暴走族の問題が課題として、いろいろ話し合われていきます。上田市少年補導委員会からも市長に、暴走族根絶条例(仮称)の制定等について陳情されました。その結果、上田市独自の条例制定へ向けて十二月定例会に提案したいという回答が出されました。また、他地区の補導員からの報告として上田駅の温泉口広場に女子高生三人が地面に座り、喫煙していたので声をかけたら、「肺炎になり医者に注意されたが、たばこが止められなくて困る」と相談されたというのもありました。様々な問題がありますが、これらは地域の課題として共に取り組み、非行防止のためにサポートしていきたいらと思えます。



### 対話が新たなふれあいを...

福祉推進委員 杵掛 節子

去る十月十一日ふれあいい街づくり推進事業の一つとして公会堂でふれあいい食会が開かれました。八十歳以上の対象者九十七名の内二十八名の参加をいただいた、推進員の皆さんによる手作りの暖かい食事と余興に楽しい一日を過ごしていただく事が出来ました。日頃余り外出もなさらず人とのふれあひも少ない皆さんが、一堂に会してなごやかに語り合い笑顔一杯に楽しんでいらつしやる姿に、お手伝いした私達までうれしくなりました。今八人のフーマーさん達にお願いして毎月二回七十歳以上のお一人暮らしの方々には乳酸飲料を届けてあげたいと思います。

### みんなで支え合いを

民生児童委員 中沢 良精

二〇〇〇年のある日、本市郊外の山辺中学校で、ある高齢者が語った。「私の悩みは、自分がどんな介護を受けられ最後にどんな死を迎えるかである。君たちは未来に夢を持ち自分らしく強く生きなさい。」この一言が中学生を動かした。

生徒たちは、「こんな大事な問題は僕たちだけでなく地域のひとと一緒に学習しよう」「みんなが気軽に集まって楽しく学べる大学をつくらう」と考えた。一年間の準備を経て「ドリーム大学」が開校。17学

### 資源回収にお願い

衛生第一部長 青木 千登世

資源回収日は、朝6時20分、当番の理事さん三人と共に回収準備を始めます。持ち込まれる資源品を仕分けし各々に積みあげ、9時に回収を終えます。集まった資源品を業者の方が運んだ後、収納庫、ビン回収の箱等掃除し終了します。

回収の都度、残される品が多いときには30リットの袋いっぱいになることもあります。回収できない中にカーテン・くつ下・ベルト・化粧品のビン・酒のパック(内側に銀色の紙が貼つてあるもの)等が目立ちます。又、紙・ダンボール等の荷くずれも多くあります。

市から配布された資源回収のチラシをもう一度確認し、正しい出し方をして戴けたらと思います。

高齢で回収場所へ運べない方には役員もお手伝いしますが、御近所でもお声を掛けて御協力していただきますようお願い致します。

### 分館活動報告

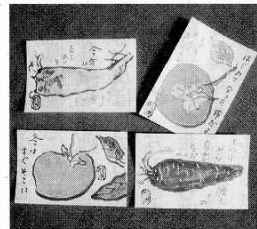
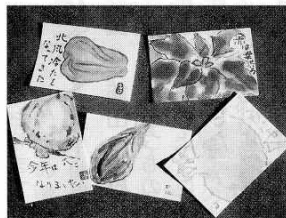
体育部 菊池 武則

生涯スポーツにたづさわれ、健康で日々過せる事の嬉しさと楽しさを感じてもらえ、スポーツ活動を通じて皆様と楽しませていただき、ありがとうございます。子供達から年輩の方まで、一緒に楽しめるスポー

### 趣味のコーナー

今回は、分館活動の一環である女性学級手芸品の一部を掲載させて頂きました。ありがとうございます。

宮島俊子さん、山浦正孝さん、村田佳子さん、市村江子さん、太田芳江さん



宮島 俊子さん 池田けい子さん



### 編集後記

今年もご投稿の皆様が快くご承知くださり感謝、感謝の気持ちでいっぱいですがお陰様でこんなに立派な分館報が完成しました。本当に有難度うございました。心から御礼を申し上げます。

### 平成 15 年度 下紺屋町分館活動行事

- 1月12日 どんど焼き
- 2月2日 道祖神(餅つき)
- 3月24日 小・中学生歓送迎会
- 4月20日 第20回/卓球大会
- 5月18日 第1回/ファミリービーチボール大会
- 6月8日 敬老会
- 8日 第21回/ゲートボール大会
- 12日 人権同和問題懇談会
- 22日 西部地区少年少女スポーツ大会
- 7月19日 祇園祭
- 26日 上田わっしょい
- 8月4日 小学生お楽しみ会
- 14日~16日 盆踊り
- 27日 女性学級/ブローチ作り
- 9月7日 町内スポーツ大会と芋煮会
- 14日 ビーチボール大会
- 19日・25日 女性学級/古布のお雛様作り
- 10月5日 青少年育成合同懇談会(市民の森マレットゴルフ場)
- 8日 市民大行進
- 19日 西部公民館運動会(第3位)
- 22日 女性学級・文化部/塩田古都めぐり
- 11月2日 下紺文化祭
- 22日 女性学級/絵手紙講座
- 29日 公会堂大掃除
- 12月3日 矢島嶺文化講演会(女性学級・文化部)
- 6日 少年サッカー大会

下紺屋町商工振興会協力店をご利用ください